

山口県宇部市の取り組み紹介 在宅医療・介護連携等の取り組み

○宇部市の状況

宇部市は、人口168,257人、高齢化率31.2%(平成29年1月1日現在)で山口県南西部に位置しています。

○事業の概要

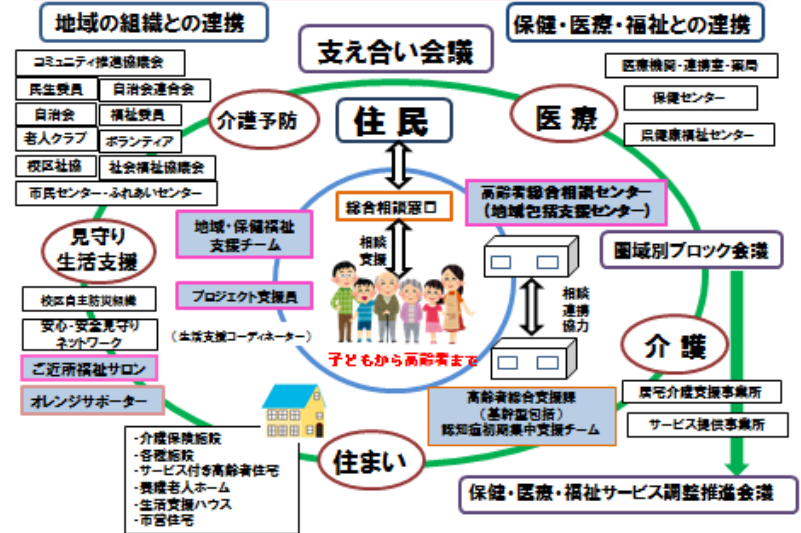
- ・宇部市では、地域包括ケアシステムを「地域支え合い包括ケアシステム」と呼び、子どもから高齢者まで幅広くその対象として在宅医療・介護連携をはじめとした支援体制の構築を目指しています。
- ・いち早く多職種連携の重要性を認識し、「保健・医療・福祉サービス調整推進会議」を設置、関係職種の連携強化等の取り組みを進めています。

【行政と医師会の強い連携】

- ・「保健・医療・福祉サービス調整推進会議」、「多職種連携研修会」をはじめ、市と医師会等各団体が連携し、市一丸となって「地域支え合い包括ケアシステム」の構築を進めています。
- ・市と医師会の間に事例の共有等を通じた強い連携関係が構築されており、そのことが在宅・医療介護連携の推進に大変重要な役割を果たしています。



宇部市の目指す地域支え合い包括ケアシステム



○実施状況(主なもの)

- ・保健・医療・福祉サービス調整推進会議、ブロック会議
各圏域で実施する「ブロック会議」で住民のニーズ把握、社会資源の掘りおこし等を行い、各組織の代表者で構成する「サービス調整推進会議」でブロック会議からの提案事項の協議や情報交換を行っています。
- ・多職種連携研修会
医療と介護の従事者が相互の専門的知識を活かしながら、チームとなって高齢者・家族をサポートしていく体制を構築するため、市、市医師会、市歯科医師会及び市薬剤師会の主催により、26年度から実施しています。
26年度、27年度は各1回、28年度は2回開催(22職種、延べ236名参加)し、講義に加えてグループワークを実施しています。